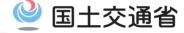
国土交通省における女性活躍の取組

国 土 交 通 省土地・建設産業局建設市場整備課



建設業における女性活躍推進に向けた取組



建設業に関心を持ち、 入職する女性を増やす

○多方面からの戦略的広報の実施

- ・ポータルサイト「建設産業 で働く女性がカッコいい」を 開設し、女性活躍推進に 関する情報を発信
- よしもとの人気芸人による 女性活躍応援キャンペーン を全国各地で展開



○夏休み現場見学会の実施 (後援:国交省主催:日建連)

・夏休み期間中に女子小・ 中学生やその保護者を対 象に、女性技術者・技能者 (けんせつ小町)が活躍 する現場見学会を開催



H28年度15ヶ所・414名

H29年度15ヶ所・384名 H30年度17ヶ所・374名

○女性技術者・技能者が子供霞ヶ関見学デーや 学校キャラバンに参加し建設業の魅力をPR



(H27年度4回、H28年度5回、H29年度4回)

こども霞が関見学デー国交省来場者数 (H27年度3,225人、 H28年度3,558人、 H29年度3,836人、平成30年度4,780人)

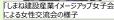


建設業で働き続ける

○地域ぐるみでの女性活躍推進

・地域において行政・団体·企業等が連携し、**女性** 交流ネットワーク構築など女性活躍応援活動を 支援







○女性が働きやすい現場をハード面 から環境整備

- ・快適トイレの標準仕様を決定し、 事例集を公表(H28年9月)
- ・直轄工事における**快適トイレの** 洋式水洗ML(暖房便座付) 設置を原則化(H28年10月以降入札工事より)



○女性のための教育訓練の充実

- ・富士教育訓練センターに女性 対象コースを開設
- ・平成28年度同施設に女性用の 宿泊施設が竣工

○実態調査・取組事例の水平展開

- ・建設業での女性活躍に関する各企業の意識・ 取組状況について、実態調査を実施 (H27.12)
- ・女性が活躍する現場での 取組を紹介する事例集を **を作成**し、情報を発信 (H27.10)
- ・地域ブロック単位で経営者 等による意見交換会を実施 ケースブック」(H27.10)



女性の更なる活躍と向上

○次世代を担う女性リーダー層に向けた 研修を実施

ロールモデルとなる女性向けに、 建設業に特化した研修を実施

○女性活躍に取り組む企業への支援

・経営者等が抱える女性の入職・定着に係る具体 的な課題を相談窓口にて受け付け、専門家によ る課題解決の支援を実施

○直轄工事における、女性技術者の登用を 促すモデル工事の実施

• H26年度より全国各地で、女性技術者の登用を 促すモデル工事を公告・実施

(H26年度:12件、H27年度:16件、H28年度:8件)

○活躍する女性を表彰

・業界で活躍する女性を 建設マスター等で表彰

(H27年度:13人⇒H28年度:14人 ⇒H29年度:5人⇒H30年度:9名)



○建設業で活躍する女性による大臣表敬

・地域や現場における女性活躍推進の取組を報告

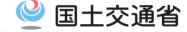


しまね建設産業イメージアップ



女性の活躍の姿を広く社会に発信

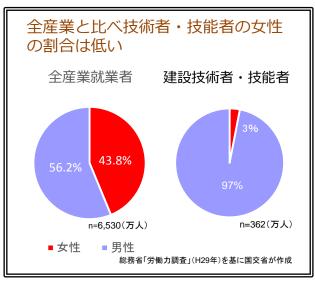
建設業における女性活躍の推進

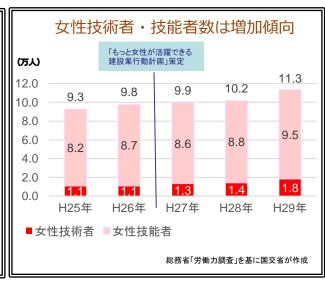


○ 建設業では担い手の確保が喫緊の課題であり、女性活躍推進の余地は大きい。国交省と建設業界が一体となり、官民を挙げた取組を着実に進め、女性活躍の機運が高まりを見せているところであり、建設業界が自律的・継続的に女性活躍に取り組める環境を整備する。

課題

- 全産業と比べ、建設業の現場で働く女性技術者・技能者の割合は低く、改善の余地は大きい。
- 建設業従事者数は減少傾向にある中、女性技術者・技能者数は増加基調であり、女性活躍の機運は高まってきている。
- 国交省と建設5団体が「もっと女性が活躍できる建設業行動計画」(H26.8)を策定してから5年が経過することから、計画の総括や新計画策定に向けた検討が必要。





「もっと女性が活躍できる建設業行動計画」 (H26.8) 主なポイント

- ・ 建設業界を挙げて女性の更なる活躍を歓迎
- ・ 教育現場(小・中・高・大学等)と連携した建設業の魅力ややりがいを発信
- ・ 長時間労働の縮減や計画的な休暇取得など、女性も働きやすい現場をソフト面で整備
- ・ 女性も活用しやすい教育訓練の充実や、活躍する女性 の表彰
- ・ 女性の活躍を支える地域ネットワークの活動を支援

令和元年度の取組

【これまでの取組を踏まえ次なるステップへ~建設業界が自律的・継続的に女性活躍に取り組める環境の整備】

○ 「もっと女性が活躍できる建設業行動計画」の総括と新計画策定に向けた検討

現行計画について、効果分析を行うとともに、新たな計画を策定



国や建設業界によるこれまでの取組について効果分析を行うとともに、新たな取組や目標を盛り込んだ次期 行動計画を策定し、女性活躍の推進方策について検討する。